

福井敬一常設展 Vol.17

日本再発見

～ディスカバージャパン～



ペンケト（北海道） 1958年

日 時：7月25日(金)～ 11月24日(月) (会期中無休)

会 場：シルキープラザ2階 アートギャラリー

開館時間：9:00 ～ 17:00 (入場無料)

主催 / お問い合わせ先：須坂市教育委員会 生涯学習体育課

須坂市大字須坂 1528 番地の1

TEL026-248-9027

FAX026-248-8825

電子メール:shogaigakushutaiiku@city.suzaka.nagano.jp



湿原の夕 1959年



しま 1960年



火口湖 1958年

福井敬一がトキワ松学園の教師だった1958年頃、学校の旅行では生徒を引率して度々白馬や八ヶ岳へ出かけました。また、40代後半で元気あふれる作者は、毎週のように日帰り旅を続けたり、鈍行で日本海から九州へぬける22日間の旅をして多くを学び、画袋は3年分くらいの収穫になるほどでした。作者は、その旅行の中で「日本の再発見」をしたと述べています。旅を楽しみながらゆったりとした気分の中で描かれたと思われる明るい色彩で、優しい雰囲気 of 絵画です。

その後、作者は1961年から100日間の初めてのヨーロッパ絵画研修旅行に出発します。西洋の素晴らしさとは違う日本の魅力にも改めて気づいたのではないのでしょうか。

本展覧会では、近年の作品も合わせて、福井敬一が旅した日本の美しい風景を集めました。皆様も絵画を通じて日本の良さを再発見してください。



白馬 1954年



太海 1993年頃

福井敬一の常設展示について

福井敬一(ふくいけいいち)は、1911年(明治44)台湾に生まれ帝国美術学校卒業後、油彩画を中心に制作活動を行い国内美術界をリードしてきました。1953年(昭和28)「上高井美術同好会」の講師となり、以来37年間にわたり毎年須坂市を訪れ地域の美術指導にあたってきました。2003年(平成15)福井敬一死去。その前年、自身の希望により600余点の作品を須坂市に寄贈しました。これらの作品を市民の芸術文化振興に活用するため、年3回テーマを設け展示替えを行っています。